

果樹生育情報 7月号

令和6年7月16日
栗原農業改良普及センター

〈りんごの生育状況等〉

表1 生育状況(7月10日調査)

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	48.6	52.4	48.1
	平年(mm)	44.8	46.7	45.9
	平年比(%)	108.5	112.2	104.8
ヨコ径	本年(mm)	54.1	57.9	53.9
	平年(mm)	49.1	51.2	48.8
	平年比(%)	110.2	113.1	110.5

7月10日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、110~113%(ヨコ径)と平年を上回っています。

〈病害虫発生状況〉

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第5号(令和6年7月8日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	(1)巡回調査の結果、徒長枝及び新梢葉における発生地点率は平年より高く、広域で発生がみられた。発病葉率は、徒長枝葉及び新梢葉ともに平年並だった。(/ ± ~ +) (2)高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/ ± ~ +)
褐斑病	多い	(1)巡回調査の結果、発生地点率及び発病葉率は平年より高かった。(/ +) (2)気温 20℃前後で多雨が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ -)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/ ± ~ +)
アブラムシ類	平年並み	(1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より低く、寄生新梢率は平年よりやや低かった。(/ -) (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/ - ~ ±)
キンモンホソガ	やや多い	(1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より高く、被害葉率は平年並だった。(/ ± ~ +) (2)20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ +)

病虫害名	発生量	予報の根拠
ハダニ類	やや多い	(1)巡回調査の結果、発生地点率はナミハダニは低く、リンゴハダニは高かった。(/ー～＋) (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/＋)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/ー～±)
果樹カメムシ類	やや多い	(1)フェロモントラップ調査では、6月末まで誘殺が確認されている。(/±) (2)巡回調査の結果、なしの被害果は確認されなかった(りんごは未調査)。(/ー) (3)果樹カメムシ類の活動には高温が好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/＋)

管内では目立った病虫害は確認されていませんが、仙台管区气象台による向こう1か月(7月13日から8月12日)の天候予報によると、『暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。また、東北太平洋側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。』との予報が出ています。

6月23日に梅雨入りしました。病虫害の好適発生条件である「高温多湿」が続いていますので、病虫害発生予報を参考にしながら園地を観察し、適時適切な防除を心がけましょう。また、散布間隔を開けないよう防除を徹底しましょう。

ハダニの好適発生条件となりますので、園地を常に観察し、必ず多発する前に防除をするよう心がけましょう。草刈り及びハダニ剤の散布を予定している場合には、草刈り後にハダニ剤を散布するようにしましょう。

果樹カメムシ類は、山林に近接するほ場では被害を受けやすいので注意しましょう。また、薬剤散布は、活動が鈍い早朝に行うと効果的です。

農薬危害防止運動実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

農作業中の熱中症を予防しましょう